



切り替えられていますか？からだの季節感。先日、いよいよ長袖ジャージを着たのに、今日は、半袖で汗だく…。でも、夕方のオレンジ色の影が長くなってきましたね。運動会や文化祭も、人を秋色にさせてくれるのかもしれない。嫌いじゃないなあ、この季節。

あんずも、いろいろなイベントが盛りだくさんです。さぼねっとまつりでは、いつもとは違った形で、皆さんと交流したいと思っています。講演会も、今年は児童と放デイを分けて2回企画しました。それぞれに深めていければと思います。就学前の保護者の皆さんと放デイのお母さんとの交流の機会も企画しています。あんずならではの“縦のつながり”をまた活かしていこうと思います。忙しくなく秋が過ぎていってしまわないように、ひとつひとつ味わっていきましょう。

—10月・11月の予定—

- 10月3日(水) ST (児童)
- 10月17日(水) 地域連携日 (児童・放デイ共にお休みです)
- 10月20日(土) さぼねっとまつり
- 10月22日(月) 代休 (児童・放デイ共にお休みです)
- 10月24日(水) レクチャー OF あんず (大石先生) (放デイ)
- 10月25日(木) レクチャー OF あんず (成瀬先生) (児童)
- 10月25日(木) 健康診断 (児童のみ) 14:30~
- 11月15日(木) 地域連携日 (児童・放デイ共にお休みです)
- 11月16日(金) ST (児童)
- 11月29日(木) ドクターNの医療相談 14~16時(児童放デイ共)



＝お知らせ＝

《さぼねっとまつり について》 (児童・放デイ共通)



第3回目の さぼねっとまつり に遊びにいらっしゃいませんか？

さぼねっとステーションが、お祭りの場に大変身!!子ども達お楽しみのゲームは…!

「ボーリング」「ディスクカーリング」「まとあて」「くじ引き」です。

初登場の「くじ引き」は、引いたカラーボールの色のコーナーから好きな商品をGET!

どんな景品があるかお楽しみに!

カフェコーナーでは、第1回目に好評だった“炙り家”さんの焼きそばが再び!!

昨年好評だった「さといもコロッケ」「バッケンデリス」さんの「ワッフル」も出店です。

こちらでも人気だった、みのりの「焼きたてパン」は種類が増えました。焼きたてのフランクフルトも是非どうぞ!

午前中、ホールから聴こえてくるのは、金管楽器のアンサンブル♪

午後には、腹話術のアンディさんがやってきます。

心のこもったステキなハンドメイド作品、大人も子どももテンションが上がります。

あんずティも試飲・販売しています。是非、ご家族、お友達とお誘いあわせの上、遊びに来てください。職員みなでお待ちしています!!

《レクチャー OF あんず》（児童・放デイ共通）※詳細は後日お知らせします。

10月24日（水）10:00～11:30、放デイの保護者の方を対象に講演会を行います。講師は、昨年に引き続き、さぽねっとステーションのオブザーバー、立教大学の石幸二先生です。『親子のスタンスを変えていくのは、いつから？—放デイの活かし方—』というテーマでお話していただきます。そして、翌日の10月25日（木）10:15～11:45は、就学前の児童の保護者を対象に講演会を行います。講師は、武蔵野短期大学の成瀬雄一先生です。『乳幼児期に大切にしたいこと』というテーマで、皆さんからのアンケートも活かしお話していただきます。



《健康診断について》（児童）

10月25日（木）14:20～、児童発達支援を利用しているお子さんを対象に、健康診断を行います。（あんずの協力医療機関である桜沢医院の先生が来ます）受診されるご家庭にはそれぞれに、その日の流れ（午前中に『レクチャーOF あんず』があるため）を、送迎を含め確認させていただきます。よろしくお願いいたします。

《放デイのお母さんと児童のお母さん方の交流会の予定》（児童）

先月お知らせしました、児童発達支援の昼食の時間に、放デイのお母さんに来ていただき、就学前の頃の話や今の学校の様子、就園や就学の際考えたこと等、あれこれと話していただく交流会の予定が下記の通り決まりました。

10月15日(月) 10月19日(金) 10月23日(火)
10月31日(水) 11月22日(木) いずれも12:00～13:00 です。

《ドクターNの医療相談》（児童・放デイ共通）

11月29日（木）に、埼玉医科大学総合医療センター小児科の奈倉道明先生による個別の医療相談を行います。2枠空きがありますので、ご希望される方はお申し出ください。



くじらクラスの9月あれこれ

くじらクラスでは、お家の中やご家族とのコミュニケーションタイムに「おもしろい」を持ち帰っていただける要素を、朝の会や活動に盛り込むことがあります。最近では、朝の会に取り入れた「どこかな・どこかなゲーム☆」玉が隠れたカップは、何色の円の上に移動したかな？ワクワクの表情で見つめてくる子。自分でやってみたい！カップを早く開けて！と、身を乗り出してくる子。人気のゲームとなりました。制作の時間で、自分でペタペタ貼って土台作り。このゲームをお土産に持ち帰ってもらいました。

秋の夜長、ご家族で過ごす時間の笑顔の種にさせていただけたら嬉しいです。



ペンギンクラスの9月あれこれ

“バランスボールを10回飛ばす！”が、朝の会の定番メニュー、ペンギンクラスです。

ちょっぴりドキドキの朝も、バランスボールが出てくると、ワクワクな表情になっちゃうほどみんな楽しみにしてくれています。「次、名前を呼ばれるかな？」「誰が呼ばれるかな？」と、待つことがとても上手になっているペンギンさん。待ちきれずに、お尻を浮かせてしまったり、となりの子が呼ばれて、思わず一步前に出てしまい、「おととと!!」と椅子に戻る様子は、たまらなく可愛いです♡

9月からは、水曜日にマット運動を取り入れています。初めての活動だけど、ホールを広く使って、ゴロンゴロンと“どんぐり”を試してみたり、お馬さんになって前進してみたり、楽しく取り組んでいます。別の曜日でも取り入れていけたらいいなと思っています。

10月の歌は『むすんでひらて』です。9月に引き続き、手遊びをみんなで楽しみましょう！

放デイのひとり言



9月は、運動会シーズンにちなんで、久しぶりに傘の玉入れをしました。カゴの代わりに傘をつるし、新聞紙で作った玉を投げ入れます。普通の玉入れと違い、玉を全部入れるタイムを計り、曜日ごとに競い合います。少しでもタイムが縮まるように工夫する姿も見られ、真剣です。結果発表のタイムを聞く緊張感。1回目2回目と良いタイムが出たときの喜び方。それぞれ曜日ごとのカラーはありますが、曜日のグループ毎に、まとまってきている様子が伺えます。

10月は何にしようかな～。



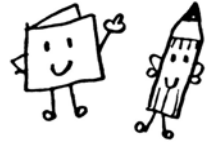
保育所等訪問支援9月のある日あるとき

プール遊びが終わって、まだ暑い日が続きながらも、どの園も、秋の運動会モードに突入した9月でした。『このクラス』での『この先生』との行事は、夏にも経験しているので、どの子ども少し余裕を感じます。先生方の、その子への誘い方、関わり方が、その子の気持ちに添っていて何より絶妙にナイスです！訪問後にする話し合いの中でも、そんな場面を話題にさせていただくことが多くなっています。

先生方は、自分がしている、その素晴らしい対応に気付いていないことも多いんです。訪問は、関わり方を提案させていただきだけでなく、担任の先生方が既に実践されている、その子に分かりやすい関わり方を、私たちが言葉にすることで確認しあえる機会にもなります。特別なことではないけれど、“ちょっと待つ”“ちょっと手伝う”“ちょっと見せる”といった一瞬の関わりが、子どもの振る舞いに笑顔を添えるのだなと、改めて感じる人が多い9月でした。いよいよ、実りの秋ですね。



☆ “あんず de 研修会” を行いました。 ☆



9月1日（土）に地域の幼稚園保育所の先生方15名をお招きして、あんずの職員も交えて『子どもとの間合い・待つこと』～支援が必要な子どもとの間合いの取り方・待ち方を考えよう～ というテーマで研修会を開催しました。

待てない子の待てない理由や関わり方の工夫を考えたり、じつは、待てないのは大人の側かもしれないと自分を振り返ってみたり。子どもが『待てる』ことと、大人が子どもを『待つ』ことを整理しながら話し合いました。10秒ってどのくらい？1分ってどのくらい？と、イメージと実際に体験する時間も途中に設ける等、待っているか、待たせ過ぎていないかを、改めて整理する時間となりました。

以下、参加された先生方からの感想の抜粋です。

- * 「待つ・間合い」のテーマでお話を聞いて、改めて考え直すと、子どもを待たせている時間が多いように感じたり、待つ時間を有効に活用できていないように感じたりしました。今回学んだことを実践し、待つときの時間の使い方、声かけの仕方、“間”の使い方を上手くできるようにしていきたいと思います。また、グループワークでは、自分の悩みを親身に聞いていただき、多くのアドバイスをいただき他の先生方の悩みや保育での話を聞くことができ、とても勉強になりました。
- * “子どもを待つこと”について、一日の中のたった1～2分ではないかとの話を聞き、改めて振り返ると、待っているその時は、私自身にも余裕がなく必死になっていたかもしれないと思いました。
- * 「待つ」「間合い」についてのお話を聞いて、たった1分でも、改めて考えると意外と長いと感じました。自分の保育の中で、どれだけ子どもを待たせているのだろう？「ちょっと待ってね」がどのくらいあったらと考えを改める機会となりました。
- * 「待つこと」の大切さを改めて感じました。集団を動かそうとするあまり、自分の気持ちに余裕がなくなっていたと反省しました。
- * まさに「ここを聞いてみたい」というお話だったので、とても参考になりました。
- * 自分でやってきたことが幾つか当てはまったので、「間合い」を頭に入れて、どう対応したらよいか考えていきたいと思っています。時間はかかるかもしれませんが、少しずつ、その子の良さを引き出して、その子と一緒に過ごせたらと思います。



つながりリレーコラム



第15回目は、所沢特別支援学校の 田中 洋子先生 です。

みなさん、「はっぴいすまいるコンサート」をご存知ですか？

今から28年前に狭山養護学校（特別支援学校）の子どもたちに生の音楽を届けようと始まったコンサートですが、その時々先生たちの思いが、ずっとつながって続いてきました。2年前一旦休止の危機もありましたが、「障がいのある人もない人も関係なく、誰もが気軽に生の音楽に接し、楽しむことのできる場を提供する」ことを目標に昨年から新たにスタートしました。

その時、開催の原動力になったのが「つながり」です。

第1は、狭山特別支援学校や現在勤めている所沢特別支援学校で出会った先生方。案内状やポスターの発送準備から出演まで、仕事の合間を縫って協力してくださいました。

第2は、保護者のみなさん。会場取り、募金集め等、とても頼りになりました。どちらも感謝の「つながり」です。

第3は、ボランティアの方々。狭山特別支援学校の時、活躍してくださったボランティアさんたちが当日手伝いに駆けつけてくれました。地域のボランティアさんと障がいのある人が「つながる」ことは、住みやすい地域づくりに欠かせないことだと思っています。

第4は、地域の中学生たち。障がいのある人たちが、中学生の合唱や吹奏楽を聴き、舞台上で一緒に踊るといふ「つながり」は、普段なかなか作ることのできない活動です。

第5は、お客さまたち。現在学校に通っている子どもたちはもとより、卒業生たちがこのコンサートを楽しみにして、笑顔で会場の皆さんと楽しく過ごしてくれる…この「つながり」がコンサートを続けていく一番の原動力でしょうか。

「つながり」の先には、それぞれの人の笑顔があります。その笑顔を絶やさないように、地域の伝統として“はっぴいすまいるコンサート”を続けていくための「つながり」をこれからも育んでいきたいと思っています。

来年は、1月19日（土）に、狭山市市民会館で行います。

皆さんもどうぞこの「つながり」に参加くださいね。



☆お 礼☆

玩具、絵本、お人形、ティッシュボックス、タオル等、たくさんのものをいただきました。「これをあんず」に」と思っていただけのこと、その瞬間があることに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

